

平成21年度 小松市決算のあらまし

財政のすがたを明快に



市の財政のしくみは、複雑でことばも難しく、決して分かりやすいとはいえないかもしれません。そこで、私たちに身近なサービスのためにどのようにお金が使われているのか、小松市の財政はどのような状態なのかを市民の皆さんに知っていただくために、平成21年度の小松市の決算の情報をもとに、分かりやすく説明します。

もくじ

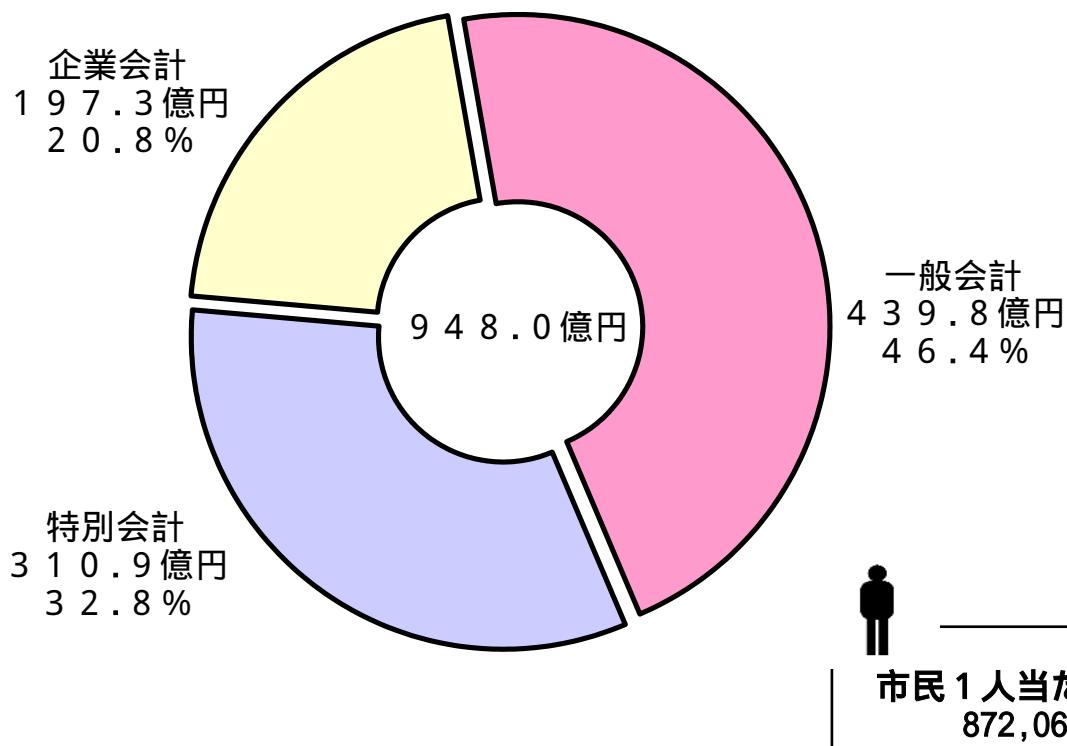
1年間でいくらお金を使ったの？	・・・・ 1 ページ
何にお金を使ったの？	・・・・ 2 ページ
一般会計の内訳は？	・・・・ 2 ページ
主な収入の内容を教えてください	・・・・ 3 ページ
主な支出の内容を教えてください	・・・・ 4 ページ
支出の分野別の使い道は？	・・・・ 5 ページ
特別会計・企業会計の内訳は？	・・・・ 7 ページ
借金はいくらあるの？	・・・・ 8 ページ
小松市の財政は健全なの？	・・・・ 9 ページ



いよっ
小松
勤労者のふるさと



1年間でいくらお金を使ったの？



メモ



小松市全体では 948.0億円のお金が使われました。これを、平成22年3月31日現在の小松市の人口108,709人で割ると、市民1人当たり 872,069円のお金が使われたことになります。平成20年度決算に比べて市全体では 17.2億円増えていますが、これは定額給付金の給付や小中学校の施設整備などによるものです。

また、市の会計は、仕事の目的や種類によって、大きく3つに分かれています。

一般会計・・・税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など、市の基本的な仕事をする会計。

特別会計・・・国民健康保険、介護保険、農業集落排水など、特定の事業をするために、一般会計とは別に、保険料や使用料などの特定の収入によって運営する会計。平成21年度、小松市には9会計ありました。

企業会計・・・公共下水道や病院、水道など、民間企業のように料金収入などで運営する会計。平成21年度、公共下水道が特別会計から企業会計へ移行したので、3会計となっています。

行政の仕事は広範多岐にわたるので、特定の事業の会計を分けることによって、収支を明確にしています。

一般会計の内訳は・・・

➡ 2ページへ

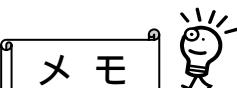
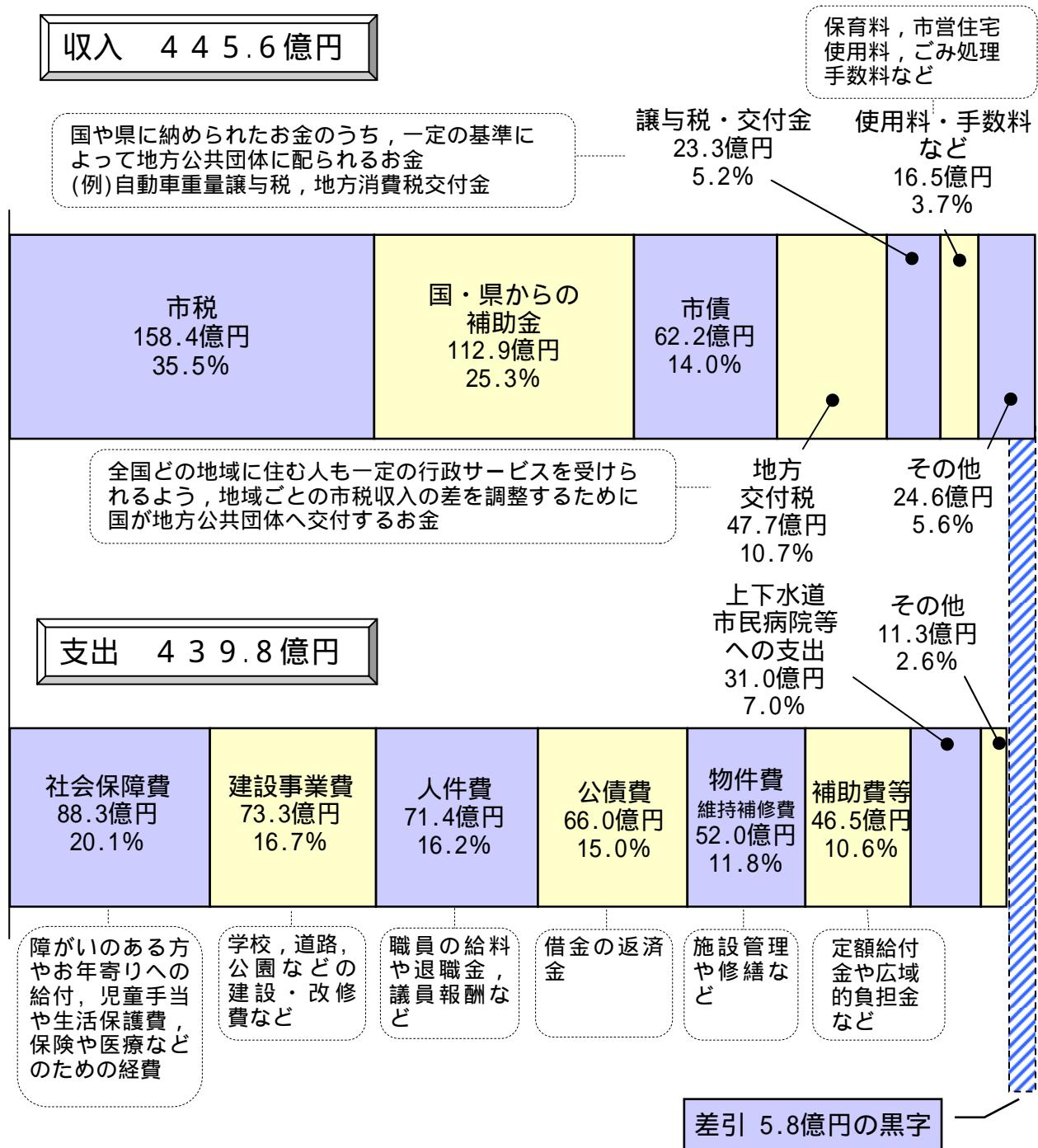
特別会計・企業会計の内訳は・・・

➡ 7ページへ

何にお金を使ったの？



一般会計の内訳は？

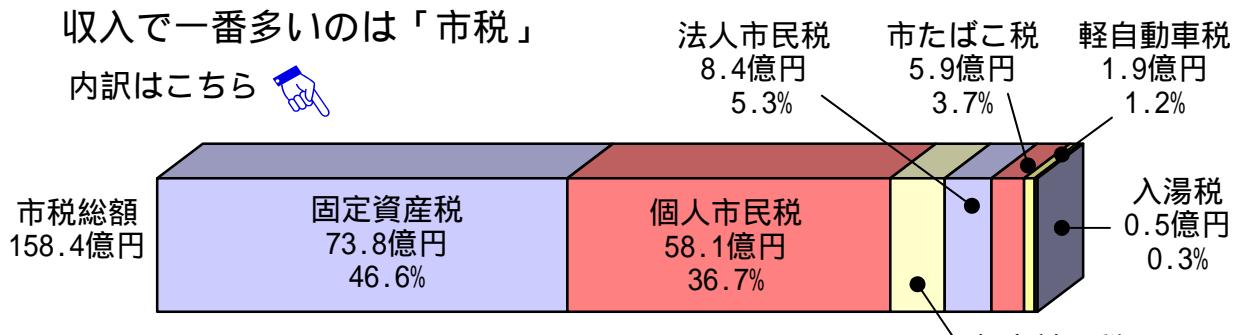


収入から支出を差し引いた形式的な収支は 5.8億円の黒字となっていますが、そのうち 0.7億円は、平成21年度中に終わらなかった事業を翌年度に繰り越して使うため、その分を差し引いた実質的な収支は 5.1億円の黒字となります。

主な収入の内容を教えてください

収入で一番多いのは「市税」

内訳はこちら

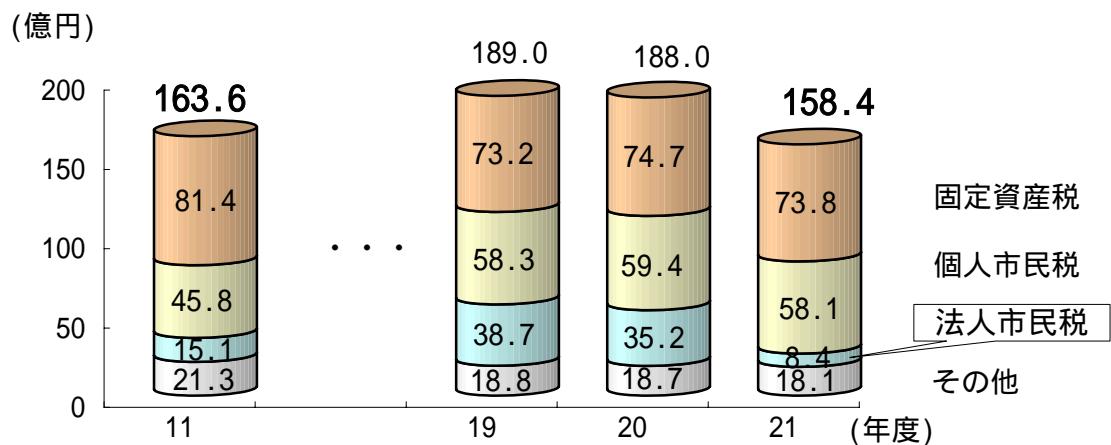


市街化区域内に土地、建物を所有している人が納める税金で、公園・道路・下水道などを整備する都市計画事業や土地整理事業のために使われる

メモ

収入の中で一番大きな割合を占めている市税ですが、平成21年度はリーマン・ショックによる景気後退の影響を受け、平成20年度決算と比べると 29.6億円（うち法人市民税 26.8億円）減っています。

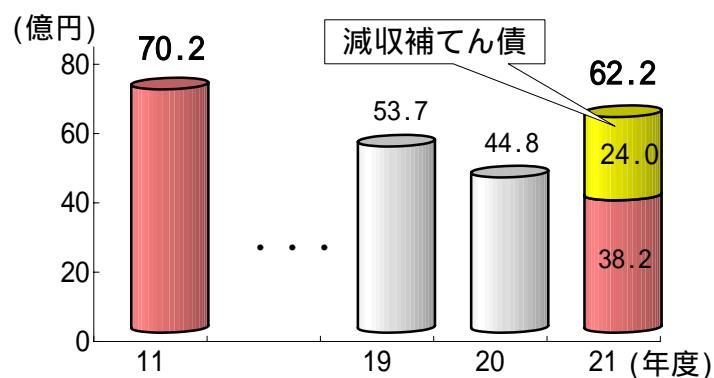
下のグラフは、10年前と直近3年の市税の状況を示しています。平成19年度から2年間、市税総額では180億円を超えていましたが、平成21年度は10年前以下の水準まで落ち込んでしまいました。特に法人市民税は、過去35年間で最も少なくなりました。



借金（市債）の借入が増加

メモ

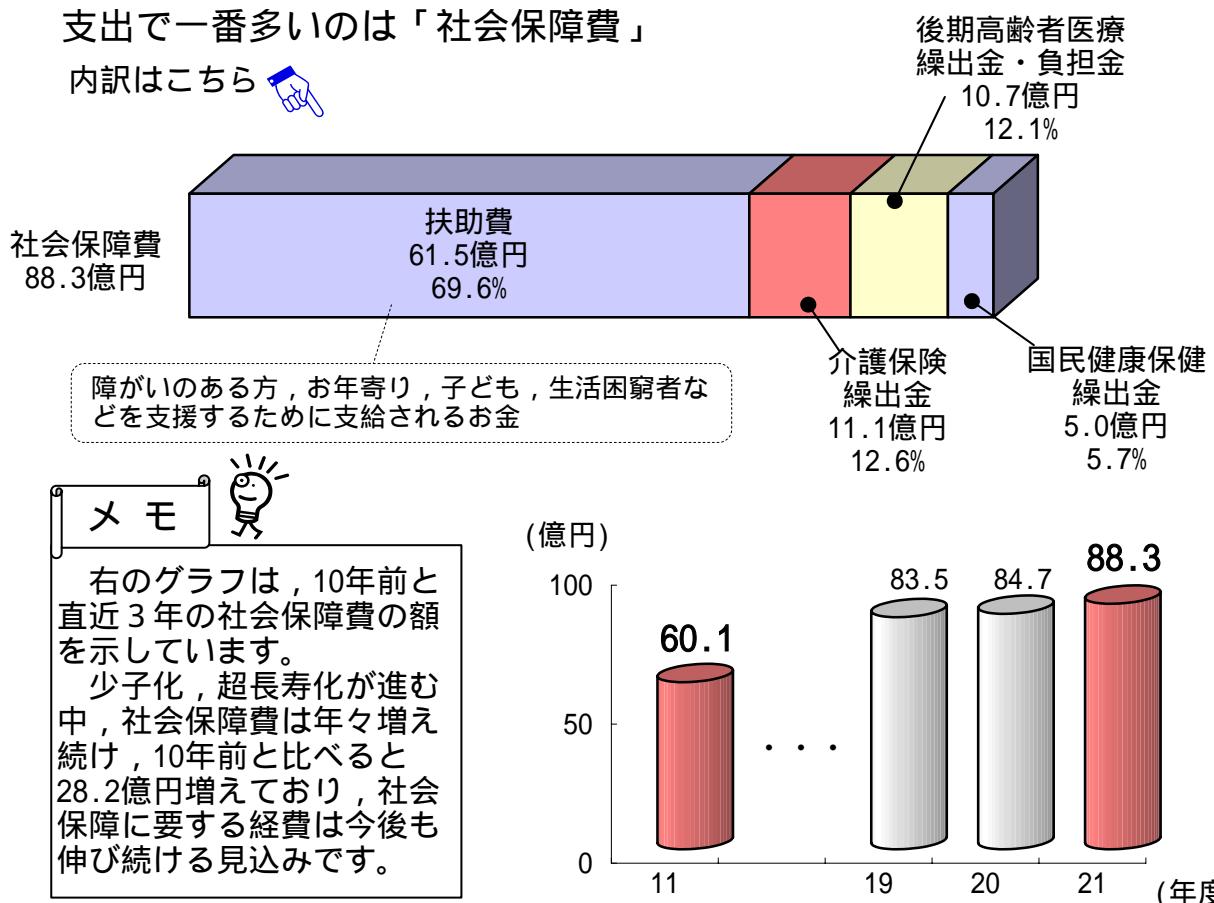
1年間に借金をする額は、10年前に比べ、近年は減少傾向でした。しかし、平成21年度は市税の急激な減収を補完する地方交付税が十分に確保されませんでした。そのため、元利償還金が後年度地方交付税に算入される減収補てん債 24.0億円の発行を余儀なくされました。



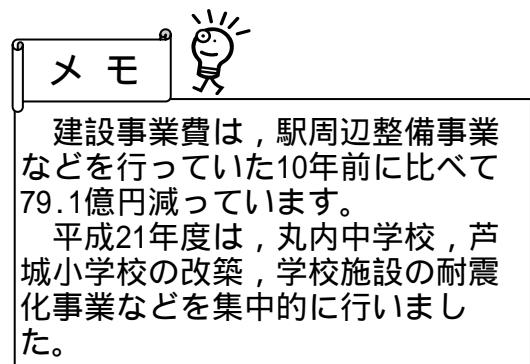
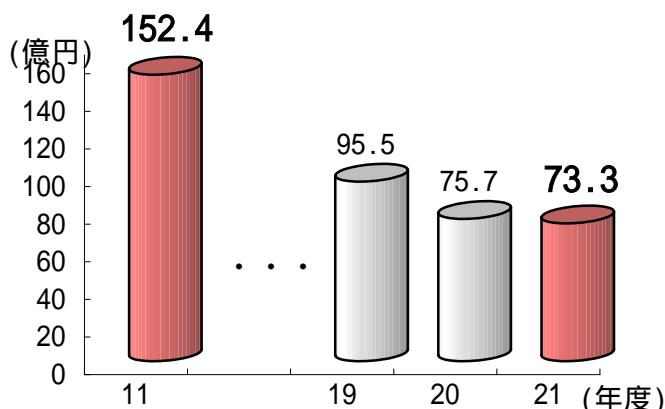
主な支出の内容を教えてください

支出で一番多いのは「社会保障費」

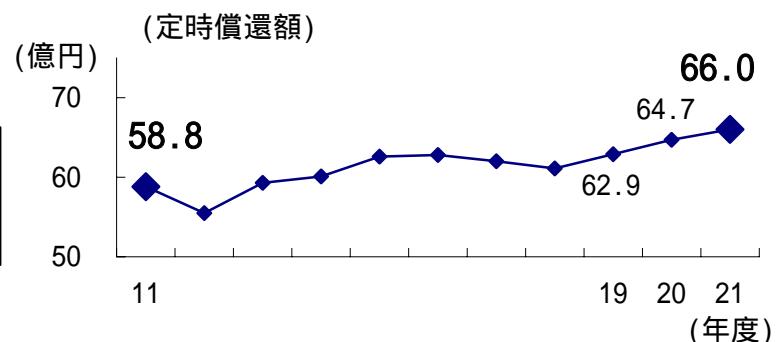
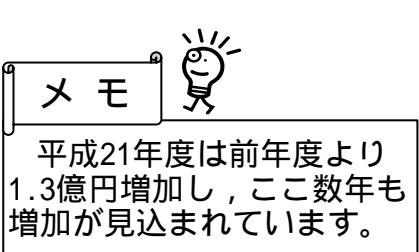
内訳はこちら



建設事業費は減少

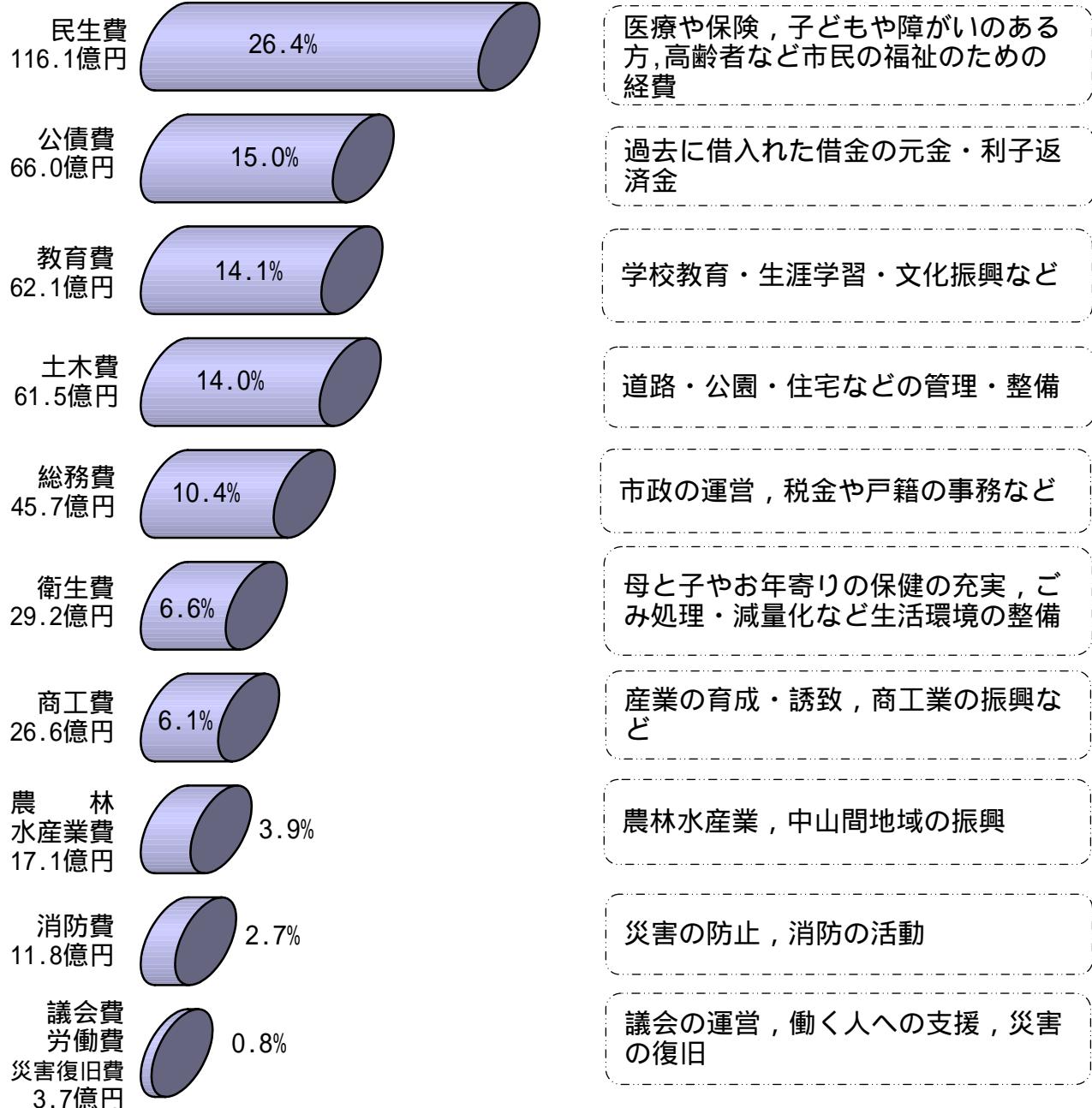


借金の返済（公債費）は高い水準のまま



支出の分野別の使い道は？

支出 439.8億円



メモ



分野別でも、福祉にかかる経費である「民生費」に一番多くのお金が使われています。平成21年度は、小中学校の施設整備の増加により、教育費が4番目から3番目に、また、定額給付金の給付があったため、商工費が9番目から7番目になっています。

()内は、市民1人当たりの支出額、矢印は対前年度増減を示す

1位 民生費 116.1億円 (106,803円) ↗

保育所の運営	36.7億円
児童手当や学童クラブの運営・施設整備など	16.3億円
障害者支援のための事業	13.7億円
・施設入所費、障害者手当、ホームヘルプなど	
生活保護の支給	7.9億円
障害者・小児医療費などの助成	5.1億円
老人福祉のための事業	4.1億円
・老人ホーム入所費、在宅支援など	

5位 総務費 45.7億円 (42,077円) ↗

職員人件費や市庁舎の管理など	23.4億円
税金の収納事務や戸籍事務など	12.5億円
広報の発行、バスの運行支援、国際交流事業など	3.7億円

2位 公債費 66.0億円 (60,686円) ↘

借金の返済（市債の償還）

6位 衛生費 29.2億円 (26,817円) ↗

ごみ処理などの環境対策	9.6億円
市民病院への繰出金	7.9億円
斎場・墓地の管理・整備	6.5億円
健康診断や予防接種など	2.8億円
水道事業への繰出金	1.0億円

3位 教育費 62.1億円 (57,096円) ↗

小・中学校の施設整備	20.3億円
小・中・高等学校の管理	18.6億円
青少年教育や図書館・博物館の運営など	10.8億円
学校給食や体育施設の運営・整備など	4.4億円

7位 商工費 26.6億円 (24,484円) ↗

定額給付金の給付	17.2億円
商工業の振興	4.4億円
融資などの金融対策	3.5億円
観光の振興	0.9億円

4位 土木費 61.5億円 (56,617円) ↘

公共下水道事業への繰出金	20.5億円
道路の管理・整備	15.2億円
公園や街路などの都市計画事業	14.3億円
飛行場・基地周辺対策	7.6億円
・学習等供用施設、基地周辺道路の整備など	
市営住宅の管理・建設	1.6億円

8位 農林水産業費 17.1億円 (15,710円) ↗

農業の振興、土地改良事業など	13.5億円
林道の管理・整備や造林など	3.1億円

9位 消防費 11.8億円 (10,895円) ↘

消防団活動、救急車など消防施設の整備、防災対策など	
---------------------------	--

10位 議会費・労働費・災害復旧費 3.7億円 (3,380円) ↘

市議会の運営	3.3億円
労働者団体やジョブカフェの支援など	0.3億円

市民1人当たりの支出額 = 各分野の決算額 ÷ 平成22年3月31日現在の人口(108,709人)

特別会計・企業会計の内訳は？

特別会計（9会計）

（単位：億円）

会計名	収入	支出	差引	事業内容
國民健康保険	102.8	102.8	-	自営業者や退職者などの医療保険
介護保険	79.3	78.7	0.6	施設介護，在宅介護等の保険
後期高齢者医療	10.1	10.1	-	広域連合による75歳以上の医療保険
老人保健	0.3	0.2	0.1	過年度老人医療費の精算
交通災害共済	0.2	0.2	-	交通災害見舞金の支給
簡易水道	0.4	0.4	-	小集落への給水事業
農業集落排水	5.1	5.1	-	農業集落の汚水処理施設管理・整備
工業団地造成	1.2	1.2	-	串地区工業団地の造成
公債管理	112.2	112.2	-	借金の返済管理
合 計	311.6	310.9	0.7	

企業会計（3会計）

（単位：億円）

会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	28.1	26.8	1.3	3.6	10.4	6.8
公共下水道	26.8	31.8	5.0	45.1	52.5	7.4
市民病院	69.0	67.8	1.2	4.9	8.0	3.1
合 計	123.9	126.4	2.5	53.6	70.9	17.3



企業会計のしくみ

企業会計には2つの財布があります。

収益的収支・・・事業を運営するために1年間にかかった経費と収入を管理する財布。事業の黒字・赤字はこの財布の中身を見れば分かります。

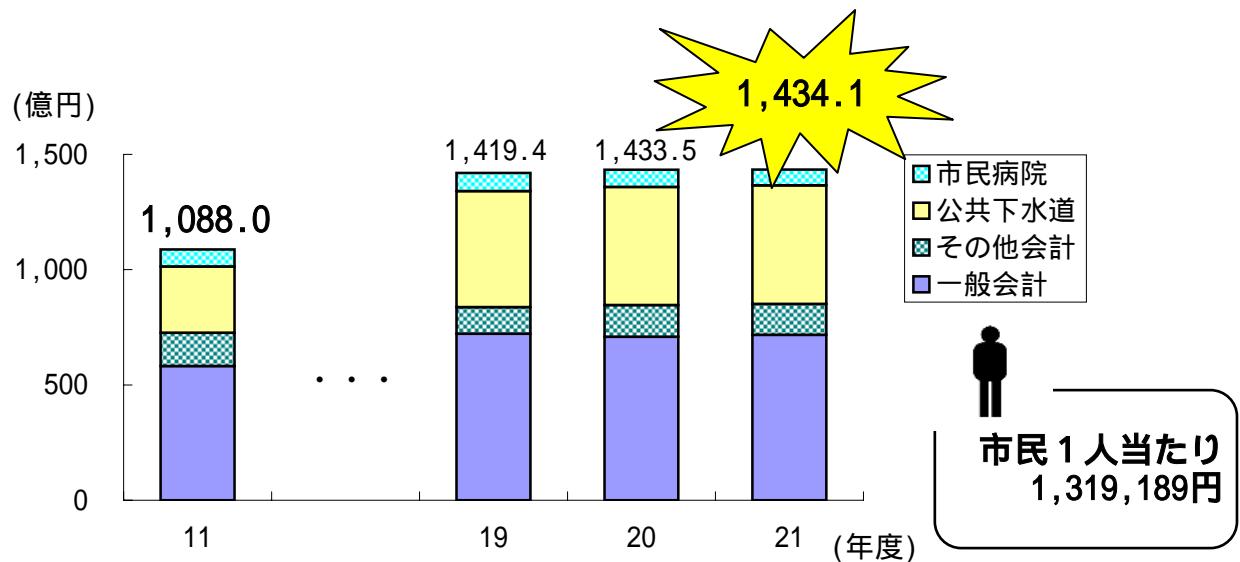
資本的収支・・・事業の運営とは別に、施設の建設や設備投資の収支をやりくりする財布。借金の借入・返済もこの財布で管理しています。

このほかに、企業会計には内部留保資金というものがあります。内部留保資金とは、純利益や現金支出の伴わない費用から生じるもので、上の表では、資本的収支が赤字になっているように見えますが、不足分は内部留保資金で補っています。

借金はいくらあるの？



小松市の借金残高は、これまで増え続けてきましたが、平成21年度末では、全会計で1,434.1億円と、前年度に対し0.6億円の増加にとどまりました。今後とも、将来を担う子どもたちのために、借金残高を減らしていくことが必要です。



地方交付税って何？



本来、市の仕事に必要なお金は、それぞれの市がその住民から徴収した地方税で賄うのが理想ですが、地域によって地方税の収入額に差があることから、地方公共団体間の税収の不均衡を調整し、全国のどの地域に住む人も一定の行政サービスが受けられるよう、国から一定の基準で交付されるお金を地方交付税といいます。

地方交付税には、財源が足りない団体に交付される普通交付税と、特別の財政需要（台風や地震等の災害に対する需要等）に対し交付される特別交付税があります。

交付税総額の94%を占める普通交付税の算定方法は下記のとおりです。

$$\text{普通交付税額} = \text{基準財政需要額} - \text{基準財政収入額}$$

基準財政需要額は、標準的な行政を行ったという前提条件のもとに歳出額を算出したものです。

基準財政収入額は、地方公共団体が標準的な税の徴収を行ったという前提条件のもとに歳入額を算出したものです。

平成21年度は、普通交付税の決定後、景気後退の影響で法人市民税の収入がさらに落ち込んでしまったため、減収補てん債24.0億円を発行し収入を確保しました。

小松市の財政は健全なの？



平成21年度の普通会計決算を、全国の類似都市や県内の都市と比べてみましょう。

類似都市：人口と産業構造（産業別就業人口の構成比）により、同じ区分に分類された都市。平成21年度の類似都市は、小松市を含めて20団体

佐野市(栃木県)、桐生市(群馬県)、青梅市(東京都)、白山市(石川県)、各務原市(岐阜県)、

富士宮市・焼津市(静岡県)、瀬戸市・半田市・刈谷市・江南市・小牧市・東海市(愛知県)、

桑名市(三重県)、彦根市(滋賀県)、守口市・大東市・門真市(大阪府)、新居浜市(愛媛県)、小松市

普通会計：地方公共団体ごとに会計の分類が異なる場合があるため、一定の基準で比較できるようにした、統計上の会計区分

市民1人当たりの市税収入

小松市の順位		
小 松 市	145,726円	
類似20都市平均	158,901円	第14位
県内10市平均	132,929円	第4位

財政力の強さ（財政力指数）

小松市の順位		
小 松 市	0.805	
類似20都市平均	0.977	第16位
県内10市平均	0.566	第2位

財政力指数
必要な財源をどれだけ自力で調達できるかを表す指標。
数値が大きいほど財政力が強い。

市民1人当たりの支出額

小松市の順位		
小 松 市	404,126円	
類似20都市平均	348,372円	第4位
県内10市平均	492,962円	第9位

借金返済負担の重さ(実質公債費比率)

小松市の順位		
小 松 市	17.1%	
類似20都市平均	9.2%	第3位
県内10市平均	16.6%	第6位

実質公債費比率
収入額のうち借金の返済に使った金額の割合。
数値が大きいほど借金返済の負担が重い。

市民1人当たりの借金残高

小松市の順位		
小 松 市	659,639円	
類似20都市平均	305,098円	第1位
県内10市平均	699,297円	第5位

財政圧迫の度合い(将来負担比率)

小松市の順位		
小 松 市	226.3%	
類似20都市平均	77.2%	第1位
県内10市平均	144.8%	第1位

将来負担比率
収入額に対する負債残高の割合。
数値が大きいほど財政圧迫の度合いが強い。

類似都市と比べると…

小松市は、借金の残高が多く、類似都市や県内10市と比較して将来に財政を圧迫する度合いを表す将来負担比率が非常に高い水準になっています。

今後はまちを発展させ、収入を確保するとともに無駄を無くすることで、借金を減らしていくことが重要な課題です。

もっと詳しく
知りたい方は…

小松市ホームページの
財政課のページをご覧ください。

発行 平成22年10月 小松市総合政策部財政課

〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地

T E L 0761-24-8144 (直通)

F A X 0761-24-8190

メール zaisei@city.komatsu.lg.jp

ホームページ <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/index.html>